

小中一貫教育とCSのさらなる充実へ

小中一貫・CS 通信

NO.54 R5.9.29 幕別町教育委員会 学校教育推進員

令和5年度も前半の6か月が終了します。今年度は、小中一貫教育とコミュニティ・スクール（CS）のさらなる充実を目指して各学園が取組を進めています。前半を振り返って、どんな前進面があったのか考えていきます。

今年度前半の成果は？ 幕別町の小中一貫教育・CSを考える

今年度は、定期的な生徒指導交流など小中の先生方の交流が進み、子ども同士の交流でもふるさと学習の合同学習など小小連携の取組が進んできています。CSは、どの学園でも学校運営協議会で熟議が定着し、運営協議会の役割についての理解が進んできました。

以下、小中一貫教育、CS、地域学校協働活動のそれぞれについて見ていきます。

小中一貫教育

①乗入授業の拡充進む

日常的に実施されているまくべつ学園では、もう当たり前になっている乗入授業ですが、各学園でも実施回数や内容の拡充が進んでいます。

糠内学園では登校から下校まで中学校で3日間を過ごす中学校登校・乗入授業を実施しました。時数増だけでなく、事前に小中で単元計画を入念に打ち合わせるなど内容も充実してきました。ちゅうるい学園でも毎週の定期的な乗入授業が定着してきていますし、他の学園でも昨年より実施の回数や時数が増えています。



②小小、小中の連携・交流が大きく進む

毎週、定期的に5年生のオンライン交流を続けている糠内学園のほかに、札内東学園では白人小、札内北小2校による野遊び×教育プログラム（ふるさと学習）の合同授業が開始され、さつない学園でも古舞小、途別小、札内南小3校による合同学習がすでに3回開かれるなど小小連携が大きく進みました。糠内学園では三校合同のマラソン大会も予定され、学園全体の連携・交流も進んできています。ちゅうるい学園の合同体力テストは定着が進み、5・6年生と中学生全員が一緒に行うシャトルランでは、終了後にミニレクリエーションや体づくり運動も行い交流をさらに深めています。

先生方の交流・連携も一層の進展を見せています。さつない学園では生徒指導や特別支援教育についての定期的な交流会議が設定され小中教職員の情報共有が進んできました。

学園全体の合同研修会も各学園で取り組まれています。ちゅうるい学園では小中一貫のふるさと学習である「かぼちゃプロジェクト」の取組を互いに参観するほか、校内研究授業も必ず相互参観しています。また、まくべつ学園では校内研究のテーマ自体を統一し合同の研修会議を開くなど、段階の進んだ小中一貫の取組を進めています。

町内各学園では、小中一貫校としての教育活動が年を追うごとに充実してきています。

コミュニティ・スクール(CS)

①熟議テーマの充実進む

各学園の運営協議会では、学校経営・学校運営に直結するテーマでの熟議が多くなってきました。

札内東学園では、どんな子どもに育てたいかの熟議から学園や各校の経営方針の年度重点を「考動」（考えて動く）とし、ちゅうるい学園では、熟議を経て学園目標を「新しい つながり」と決めました。まくべつ学園でも、「さらに地域と連携した教育活動を進めるには」とのテーマ

で熟議を行い、その中で新たな協力団体や企業との結びつきを得るなど、実際の教育活動を動かす熟議となっています。

地域の知恵や願いが学園・学校の経営・運営に反映される、実効性のある熟議に発展してきています。



②活動サイクルが軌道に

コロナ禍で乱れてしまったCSの活動サイクルがやっと軌道に乗ってきました。2・3月に行われる次年度経営方針の承認を主とする運営協議会に始まり、熟議がなされる中間の2回の運営協議会、そして活動を振り返る1月の運営協議会という流れが確立してきました。

まくべつ学園とちゅうるい学園では、初めの会議で年間計画や今年度の重点などが話し合われ、学園評価をもとに「目指す子ども像」にどれだけ迫れたのかを総括する最後の会議までの流れができつつあります。ちゅうるい学園では、自らの学びや育ちを振り返る子ども（中学生）の熟議も行われ、改善サイクルの重要な一翼を担うようになっていきます。

運営協議会が学校改善を進める主体的な存在へと発展していく道筋が見えてきました。

地学協働活動



①活動の充実(先行している札内東学園)

地域学校協働本部が設置されている唯一の学園、札内東学園ではチロッター（白人小）、きたよー（札北小）の学校サポーターが定期的に学校を訪れ、図書ボランティア活動を中心とするサポートをしていましたが、今年度から業務の幅が広がっています。白人小では教材園の草取りや防災紙芝居の読み聞かせ（防災の日の取組）、札北小では新一年生の下校指導補助や陸上大会役員派遣などが取り組まれています。札東中でもパークゴルフ体験の際、パークゴルフ協会から講師を招いています。

ふるさと愛を育む地域学校協働活動が広がりをを見せています。

②地域学校協働本部設立に向けた動きが加速

他の学園でも、地学協働本部設立に向けた動きが活発になってきました。まくべつ学園では、すでに地域の協力によって行われている教育活動が一目でわかる「まるわかり まくべつ学園サポーター」を作成し、協働本部設立への機運を高めています。糠内学園でも同様に「まるわかりサポーターの図」とサポーター名簿を作成し、運営協議会の議題として設立に向けた検討を進めることにしています。ちゅうるい学園では、すでに数々の協働活動が行われ、組織体制の確認と人員配置の課題がクリアされれば設立可能というところまで来ています。学校サポーターを募集しているさつない学園でも設立に向けての地道な努力が続けられています。

「5つの学園すべてに地学協働本部設置」が少しずつ近づいてきています。

教育委員会としては、伴走機能を果たすべく地学協働活動推進員の配置に向け、その可能性を追求していきます。

各学園実践交流会予定

まくべつ学園	11/24(金)	幕別小
糠内学園	日程未定	ICT 実践交流会
さつない学園	日程未定	札南小
札内東学園	11/16(木)	札東中
ちゅうるい学園	12/8(金)	忠類小

小中一貫教育・CS関係 10月の動き

3日(火)	糠内学園定例経営会議
4日(水)	まくべつ学園小中合同あいさつ運動 さつない学園小中児童生徒様子交流 さつない学園乗入授業部会会議
5日(木)	まくべつ学園ミニバレー大会(職員体育)
6日(金)	さつない学園検定・学習会部会(連絡・調整)
11日(水)	さつない学園小中児童生徒様子交流
17日(火)	ちゅうるい学園中学校登校
18日(水)	まくべつ学園小中合同あいさつ運動 さつない学園小中児童生徒様子交流
24日(火)	糠内学園学校運営協議会
25日(水)	さつない学園小中児童生徒様子交流
26日(木)	札内東学園学校運営協議会 (日程未定) 札内東学園地学協働本部総会 さつない学園実践交流会